

## ◆ 今週のコメント

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(70歳代女性)あり、症状は発熱、咳嗽、呼吸困難、下痢、肺炎です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は3例となりました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あり、症状は菌血症、肝のう胞です。感染地域は国内です。本年の累積報告数は9例となりました。
- ・ 京都府に発令されていた、新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言が5月21日に解除されたことを受け、京都府は5月23日、これまでにクラスター(感染者集団)が発生したライブハウスなど一部施設を除き、休業自粛要請を解除しました。しかしながら今後、新規感染者の増加状況などにより、再度の自粛要請の可能性がります。今後も引き続き感染予防対策を徹底してください。

「かからない」「うつさない」ためには以下の対策が必要です。

- 「密集・密閉・密接」のいわゆる「三密」を避けるようにしてください。
- 不要不急の都道府県を超えた移動はできるだけやめましょう。
- こまめに手洗いしましょう。

## ◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市で広報された新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者数(患者数)は、第20週までで248例となりました。患者数を男女別でみると、男性が109例(44.0%)に対し、女性が136例(54.8%)で、女性の方がやや多くなっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 1例(肺結核 なし, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 82例(肺結核 46例, その他結核 7例, 潜在性結核感染者 29例)うち喀痰塗抹陽性 20例】
- ・ 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 9例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	0.79	34
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.58	25
	③ 突発性発しん	0.19	8
	④ 伝染性紅斑	0.07	3
	⑤ 手足口病	0.05	2
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.05	2
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

## 【次ページ以降の主な内容】

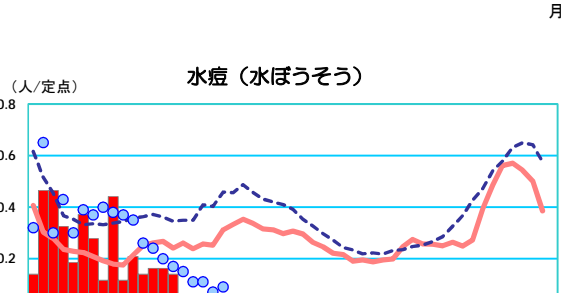
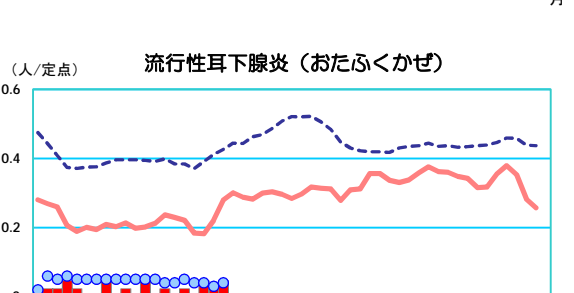
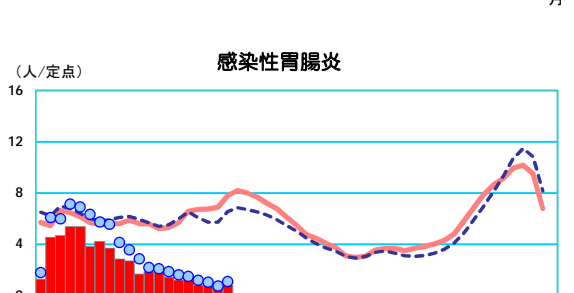
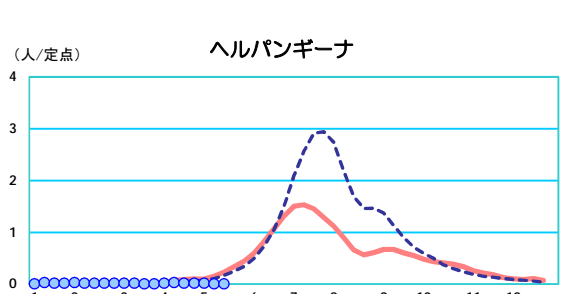
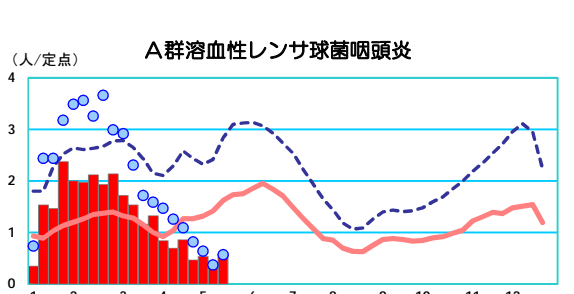
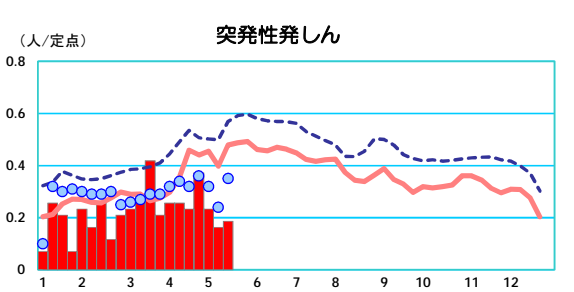
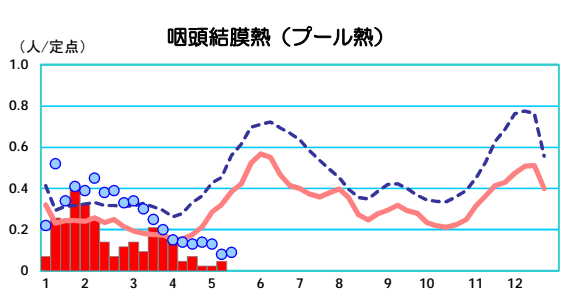
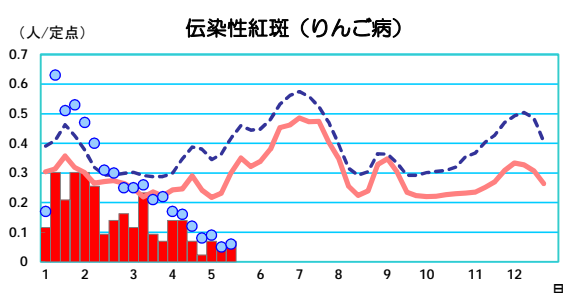
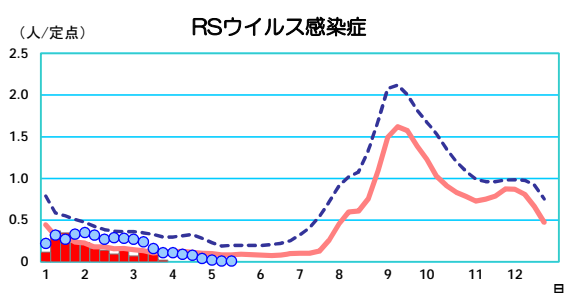
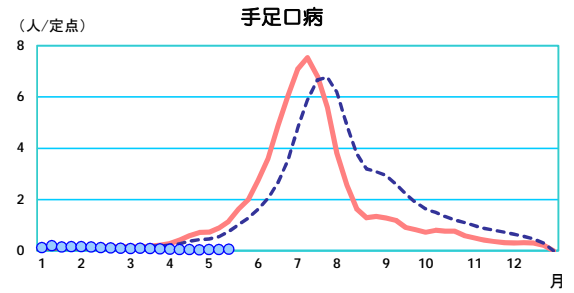
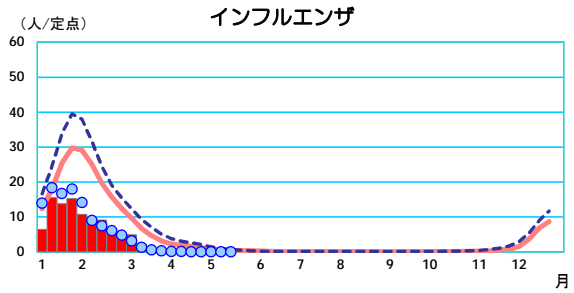
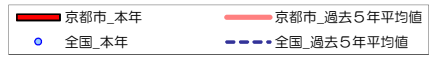
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2020年5月21日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

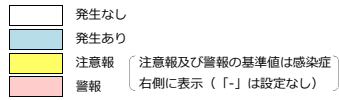
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

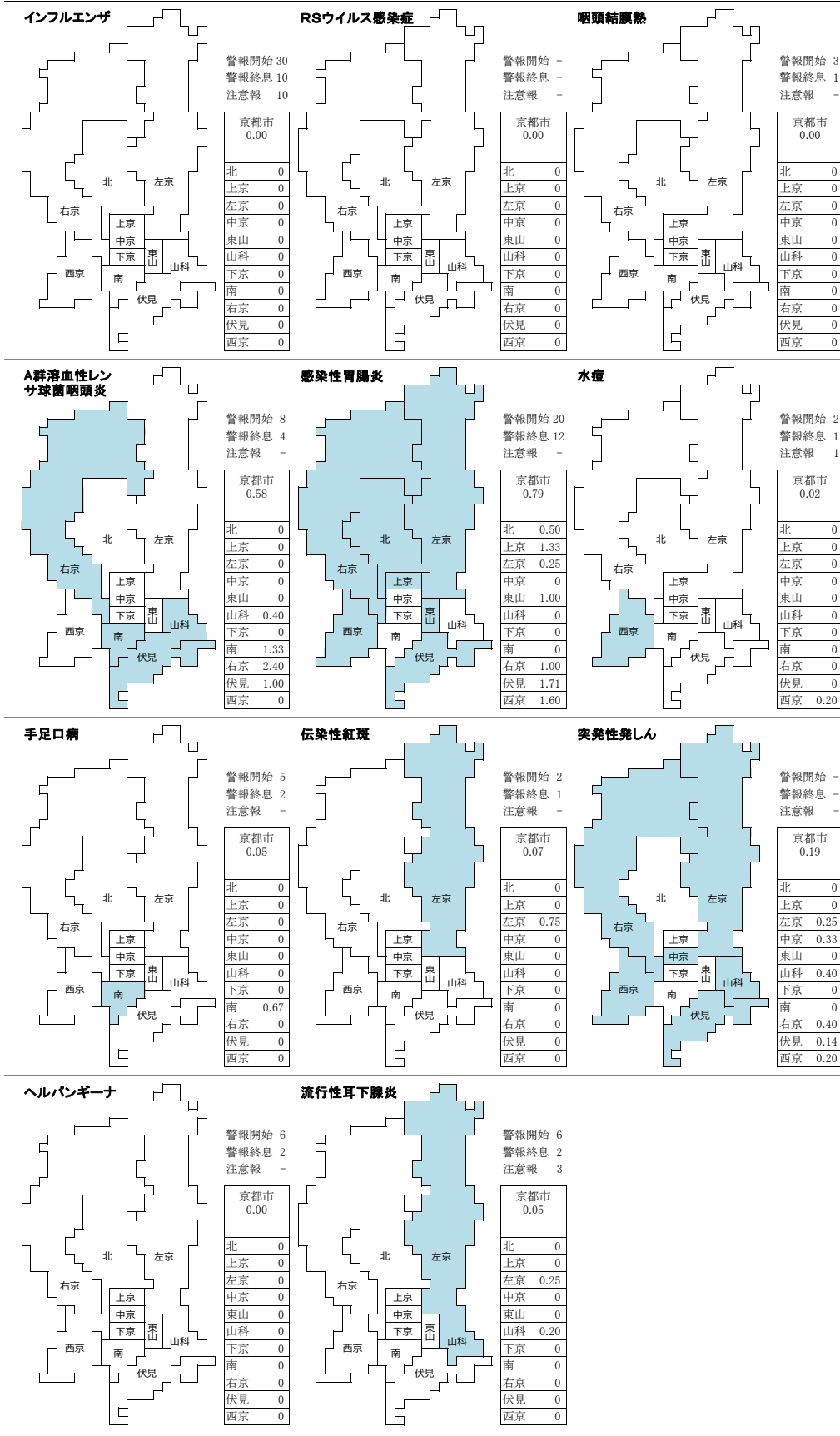
# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第20週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。  
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



## 第20週(5月11日～5月17日)トピックス:<新型コロナウイルス感染症>

京都市で広報された新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者数(患者数)は、第20週までで248例となりました。患者数を男女別でみると、男性が109例(44.0%)に対し、女性が136例(54.8%)で、女性の方がやや多くなっています(図1)。年齢階級別・男女別でみると、20歳代が最も多いことは男性と女性で共通しています。一方、80歳以上では、男性が9例(8.3%:男性患者数に対する比)に対し、女性が29例(21.3%:女性患者数に対する比)で、高齢者層は女性で多くっており、男性と女性で違いがみられます(図2)。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、政府は令和2年4月16日に全都道府県を緊急事態措置の対象とし、特に京都府と12の都道府県を「特定警戒都道府県」として指定しました。感染拡大に一定の歯止めがかかっているとして、5月14日に39県、5月21日には大阪、兵庫及び京都各府県で緊急事態宣言が解除されました。また5月25日には首都圏の1都3県(東京、埼玉、千葉、神奈川)及び北海道も解除が発表され、これで47都道府県すべてで緊急事態宣言が解かれることになりました。

一方、京都府では「京都モデル」として独自の緊急事態措置緩和判断基準を設けています。この基準の達成状況から、休業要請していた大部分の業種について5月16日から要請を解除しました。5月21日の政府緊急事態宣言解除を受け、京都府では5月23日から緊急事態措置を解除し、これまでにクラスターが発生した施設等及び大学を除いて、休止を要請しないこととなりました。

○京都府緊急事態措置緩和判断基準(京都モデル)の達成状況(京都府のホームページ)  
<https://www.pref.kyoto.jp/>

図1 新型コロナウイルス感染症 男女別患者数(2020年第20週まで)

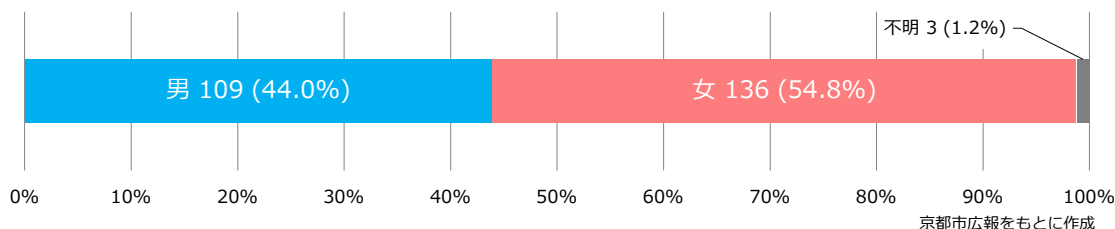
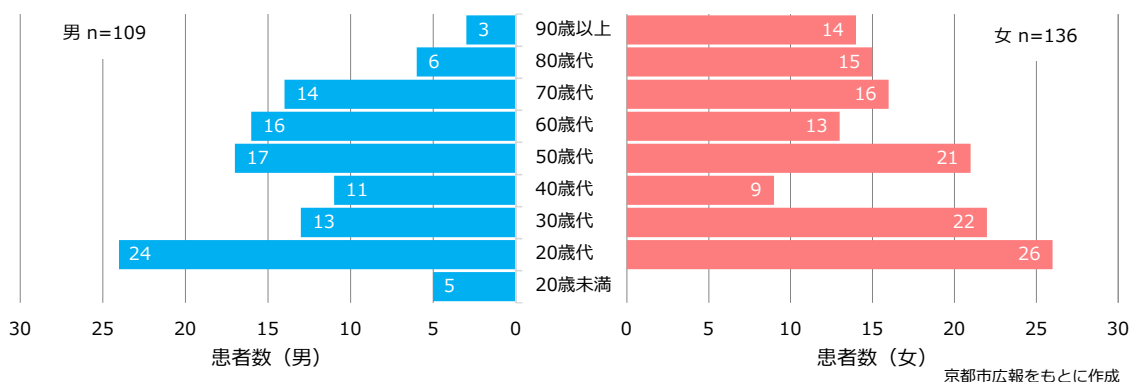


図2 新型コロナウイルス感染症 年齢階級別・男女別患者数(2020年第20週まで)



**京都市では下記センター及び専用電話相談窓口を開設しています。**

- 帰国者・接触者相談センター
- 新型コロナウイルス感染症専用電話相談窓口

1. 専用電話番号：075-222-3421

(電話番号は共通です)

2. 受付時間：土・日・祝日を含む24時間

<相談の目安>

- 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- 重症化しやすい<sup>※</sup>方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合  
(※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
- 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

参考情報

- 厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)
- 京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第20週

疾病,行政区別報告数

2020年5月11日～2020年5月17日

データ入手日:2020年5月21日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	1	-	-	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	4	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	12	5	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	7	12	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	8	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	-	25	34	1	2	3	8	-	2	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	0.25	-	-	0.75	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.40	-	-	-	-	0.40	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.33	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	2.40	1.00	-	-	-	0.40	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	1.00	1.71	-	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	1.60	0.20	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	-	0.58	0.79	0.02	0.05	0.07	0.19	-	0.05	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第20週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年5月11日～2020年5月17日

データ入手日:2020年5月21日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		25	-	1	1	2	5	6	5	2	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		34	-	2	5	2	2	3	3	1	3	-	1	6	2	4	-	-	-	-	-	-
水痘		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		8	-	3	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.58	-	0.02	0.02	0.05	0.12	0.14	0.12	0.05	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		0.79	-	0.05	0.12	0.05	0.05	0.07	0.07	0.02	0.07	-	0.02	0.14	0.05	0.09	-	-	-	-	-	-
水痘		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.07	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.19	-	0.07	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第20週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年5月21日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	12	2	2	1	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	2	3	1	1	2	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	37	20	23	17	25
感染性胃腸炎	52	64	35	30	25	34
水痘	6	2	2	2	2	1
手足口病	1	2	3	1	4	2
伝染性紅斑	6	3	1	3	2	3
突発性発しん	11	10	16	10	7	8
ヘルパンギーナ	-	-	1	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	1	-	2	1	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	2	2	1	-	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	122	126	83	74	60	76

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.17	0.03	0.03	0.01	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.05	0.07	0.02	0.02	0.05	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.70	0.86	0.47	0.53	0.40	0.58
感染性胃腸炎	1.21	1.49	0.81	0.70	0.58	0.79
水痘	0.14	0.05	0.05	0.05	0.05	0.02
手足口病	0.02	0.05	0.07	0.02	0.09	0.05
伝染性紅斑	0.14	0.07	0.02	0.07	0.05	0.07
突発性発しん	0.26	0.23	0.37	0.23	0.16	0.19
ヘルパンギーナ	-	-	0.02	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	0.02	-	0.05	0.02	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.20	0.20	0.10	-	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2.89	3.07	2.07	1.79	1.40	1.84

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。